

「便潜血と生活習慣との関連」について

○ 研究の意義・目的

日本では大腸がん罹患患者数・死亡者数は増加の一途を辿っているものの、年齢調整死亡率についてはほぼ横ばいの状態である。これは、便潜血検査を用いた対策型検診が寄与しているものと考えられるが、検診受診率および精検受診率の低さが課題として挙げられ、その効果としては十分とはいいがたい。TCS（全大腸内視鏡検査）による大腸がん検診の有効性が期待される中で、TCS のキャパシティに限りがあることを考慮すると、大腸がん・大腸腫瘍を有するリスクの高い受診者を非侵襲的な方法で抽出し、その high risk 群に優先的に TCS を提供するという方策の確立は重要と考えられる。便潜血検査は、そのような受診者リスク層別の優れた手段である。今回、便潜血検査での精密検査結果、背景因子を調査することにより、今後の便潜血受診勧奨に生かすことは重要と考えられる為、調査を行います。

○ 研究対象者

2019年4月1日から 順風会健診センターで便潜血検査を受診された方を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、診療録（カルテ）情報を用いて行います。カルテから転記する内容は性別、年齢、病歴、検査結果、生活習慣などです。個人が特定できる情報は転記しません。

また、他院からの検査画像の使用をする場合がありますが、その場合は該当者には文書にて使用承諾を得ます。この際も、個人が特定できる情報は記載いたしません。

○ 研究開始日

2021年4月1日 から

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。お申し出があった場合には、研究対象者が識別される情報の利用を停止いたします。

.....
お問い合わせ先

住 所：790-0822 愛媛県松山市高砂町2丁目3-1 順風会健診センター

電話番号：089-911-2111

研究担当者：長谷部 靖子